

平成29年11月2日
九州地方整備局

長陽大橋ルート開通から1ヶ月後の交通状況等について

長陽大橋ルート（村道柵の木～立野線）の開通（8月27日開通）から1ヶ月が経過した阿蘇地域について、交通状況等を取りまとめましたので報告します。

【長陽大橋ルート（開通区間）の交通状況】（別紙1）

- 交通量は、約10,200台/日（平日）、約12,100台/日（休日）
- 一部時間帯において、平日で200～300m、休日で約500mの渋滞が発生

【並行路線の交通状況】（別紙2）

- ミルクロードの交通量は、約2割減少し、渋滞も一部緩和
- 県道熊本高森線（俵山トンネルルート）の交通量は、約6割減少

【長陽大橋ルートの開通による効果】（別紙3～5）

- （医療）南阿蘇村内唯一の救急病院の阿蘇立野病院で救急患者の受け入れ再開
また、大津町の救急病院への搬送時間が約16分短縮し患者負担も軽減
- （公共交通）高森～大津間の直通バスが運行開始し、利便性が向上
- （観光）開通をきっかけとして、南阿蘇村の観光施設の利用者数が増加

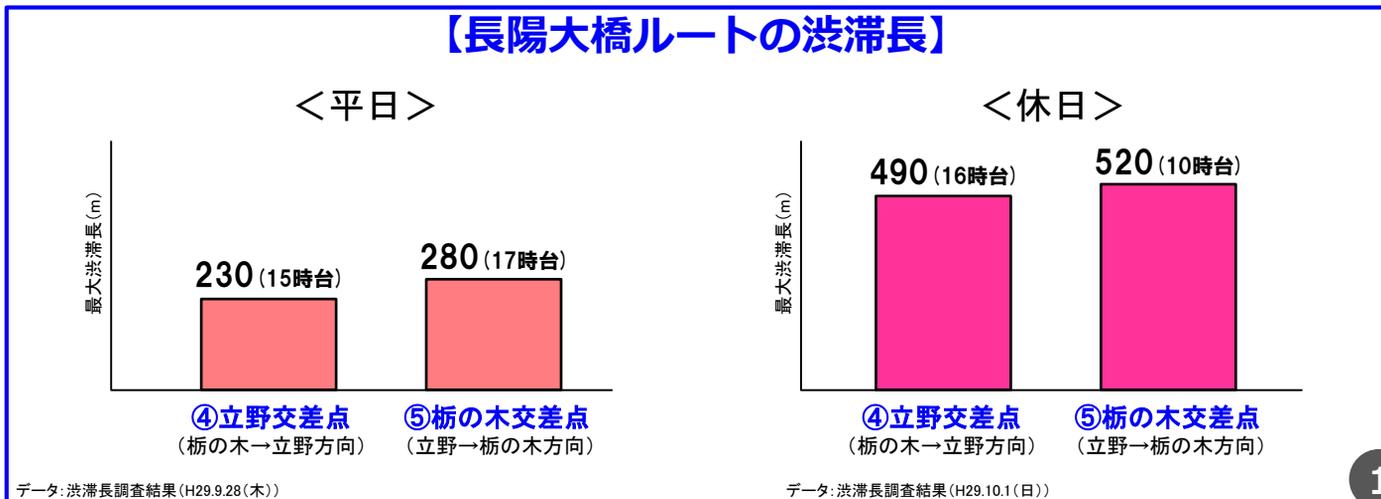
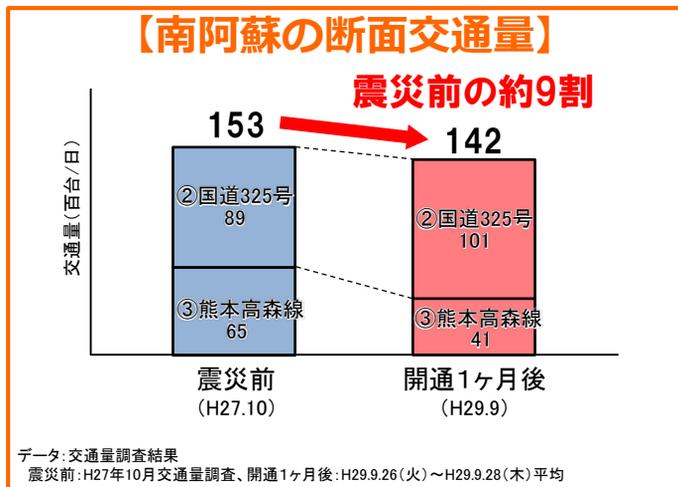
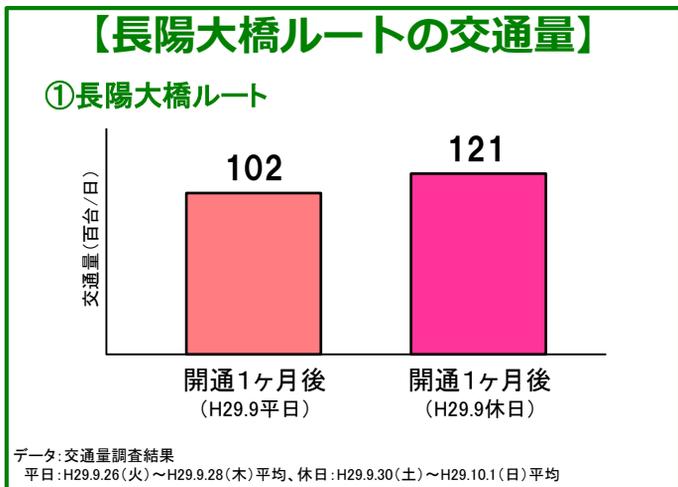
※長陽大橋ルートの恒久復旧に向けた工事は継続しますので工事車両が出入りすることがあります。また、一部時間帯では渋滞が発生しており、道路の急勾配や急カーブ区間で交通事故も発生している状況です（別紙6）。走行には十分ご注意ください。

【問合せ先】

九州地方整備局 道路部 道路計画第二課長 松元 勝美

TEL：092-476-3530（直通）

- 長陽大橋ルートが開通してから1ヶ月後の交通量は、平日で約10,200台/日、休日で約12,100台/日となっています。
- 一部時間帯において、平日で200~300m、休日で約500mの渋滞が発生しています。
- 南阿蘇方面のアクセスルートである国道325号と俵山トンネルルートを含めた南阿蘇の断面交通量は、震災前の約9割となっています。

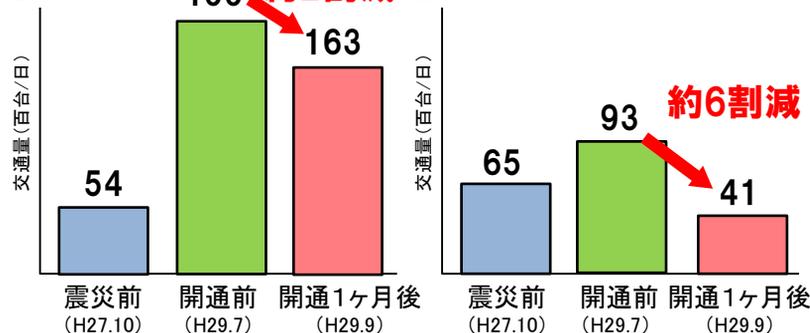


- 並行路線の交通量は、ミルクロードで約16,300台/日と約2割減、県道熊本高森線（俵山トンネルルート）で約4,100台/日と約6割減。
- 長陽大橋ルート開通により、ミルクロードの交通量が減少し、渋滞が緩和。（最大渋滞長：1,090m→300m）



【並行路線の交通量】

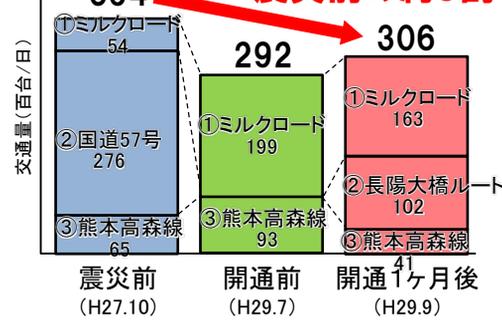
①ミルクロード 199 約2割減 ③県道熊本高森線



データ：交通量調査結果
 震災前：H27年10月交通量調査、開通前：H29.7.18(火)～H29.7.20(木)平均、
 開通1ヶ月後：H29.9.26(火)～H29.9.28(木)平均

【東西方向の断面交通量】

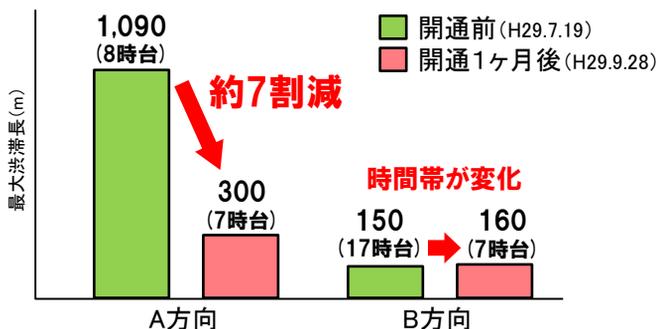
震災前の約8割



データ：交通量調査結果
 震災前：H27年10月交通量調査、開通前：H29.7.18(火)～H29.7.20(木)平均、
 開通1ヶ月後：H29.9.26(火)～H29.9.28(木)平均

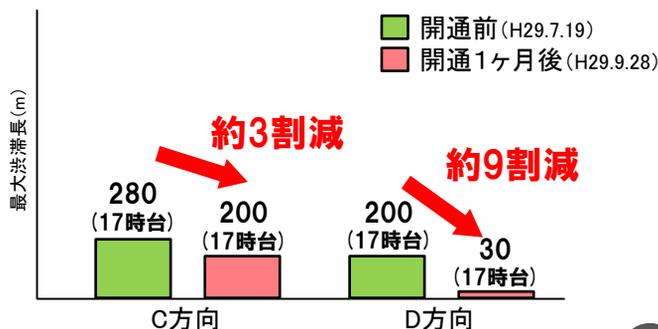
【ミルクロードの渋滞長】

④ミルクロード入口交差点 (赤水側) (平日)



データ：渋滞長調査結果 開通前：H29.7.19(水)、開通1ヶ月後：H29.9.28(木)

⑤(仮)高尾野交差点 (平日)

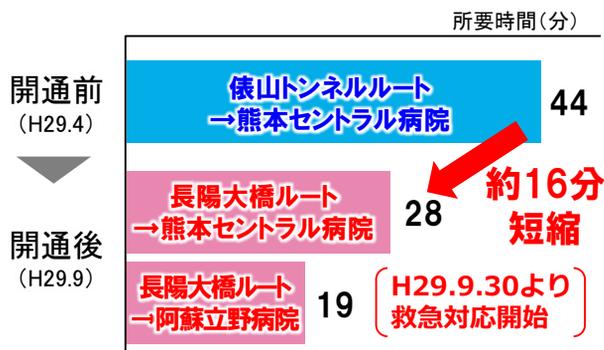


データ：渋滞長調査結果 開通前：H29.7.19(水)、開通1ヶ月後：H29.9.28(木)

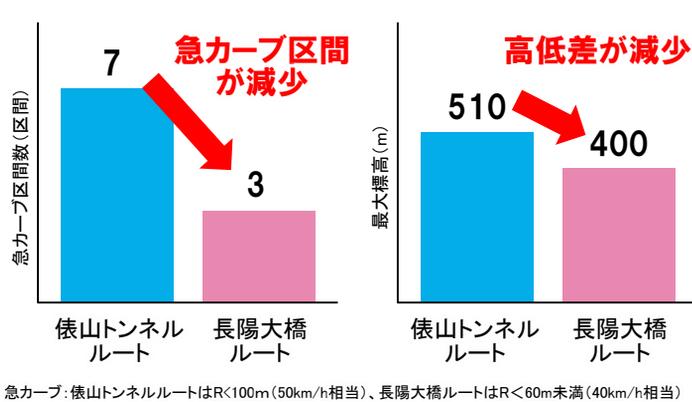
- 長陽大橋ルート開通を受け、南阿蘇村で唯一の救急病院である阿蘇立野病院で救急患者の受け入れが再開。
- 病院の受け入れ体制に応じた搬送先の選択が可能となり、熊本セントラル病院への搬送時間は約16分短縮し、走行性が向上して患者への負担も軽減。



■ 第二次救急医療施設への搬送時間



■ 病院搬送ルートの急カーブ区間数と最大標高



通院患者の声

(高森町在住 女性)



- ・阿蘇立野病院が再開するまでは、阿蘇市の病院に通院していました。
- ・長陽大橋ルート開通により、阿蘇立野病院が利用しやすくなりました。

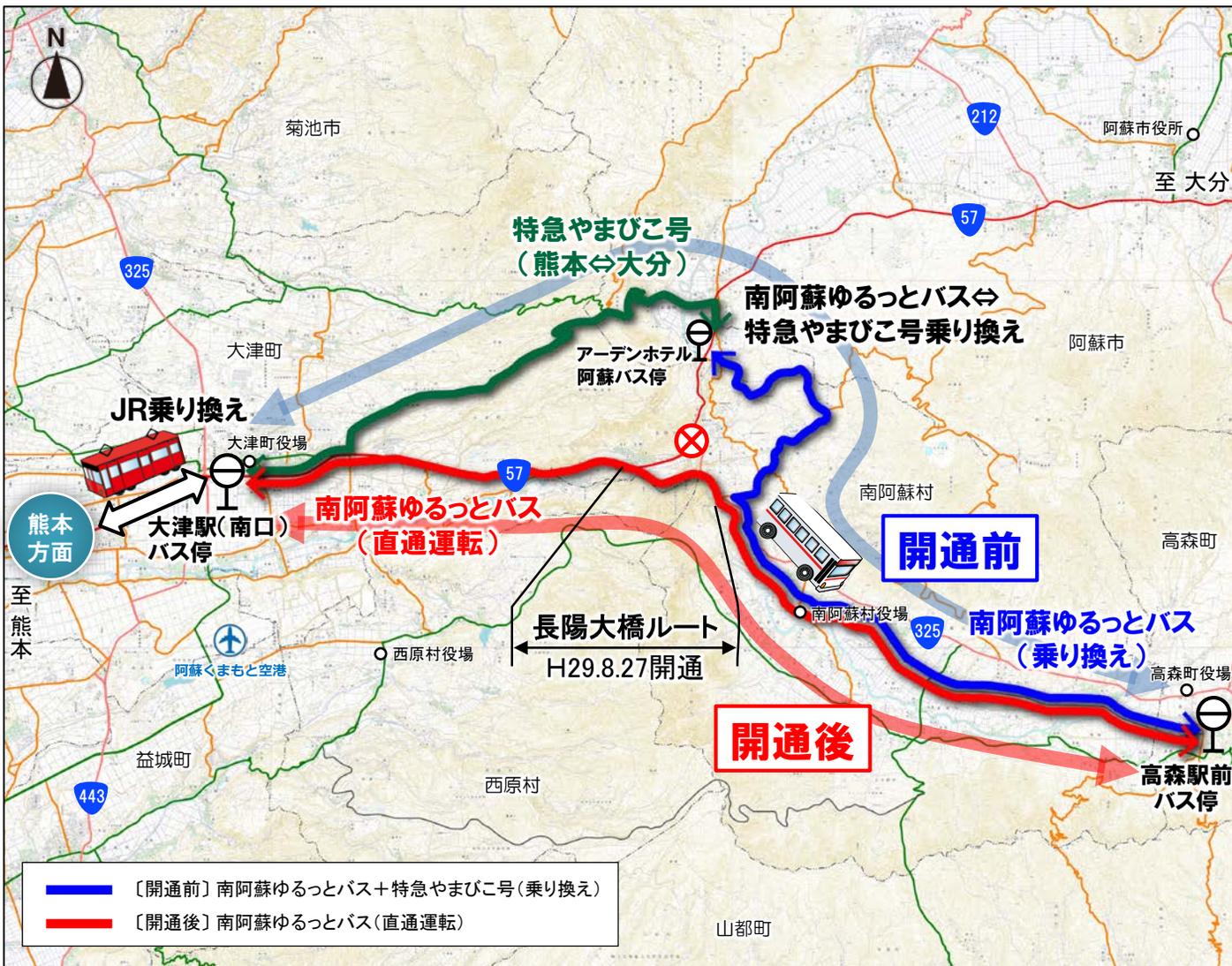
救急隊員の声

(阿蘇広域行政事務組合 南部分署)

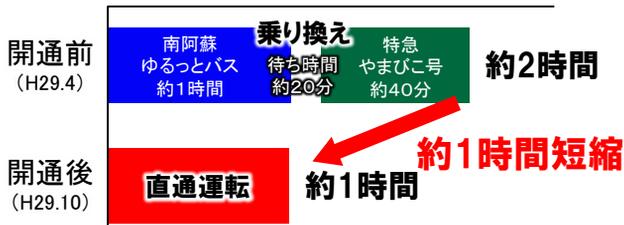


- ・熊本セントラル病院への搬送時間は、長陽大橋ルートの開通により、震災前の所要時間とほぼ同じになった。
- ・俵山トンネルルートは、カーブが多く、アップダウンも激しいため、長陽大橋ルートの開通により、患者さんへの負担はかなり軽減されている。

- ▶ 長陽大橋の開通により、南阿蘇ゆるっとバスが肥後大津駅への直通運転を開始。
- ▶ 高森～大津間の所要時間が約1時間短縮し、熊本方面のアクセス性が向上。



■バスの所要時間 (高森駅前⇔大津駅(南口)間)



資料:産交バス時刻表

■バスの運行本数 (高森駅前⇔大津駅(南口)間)



資料:産交バス時刻表

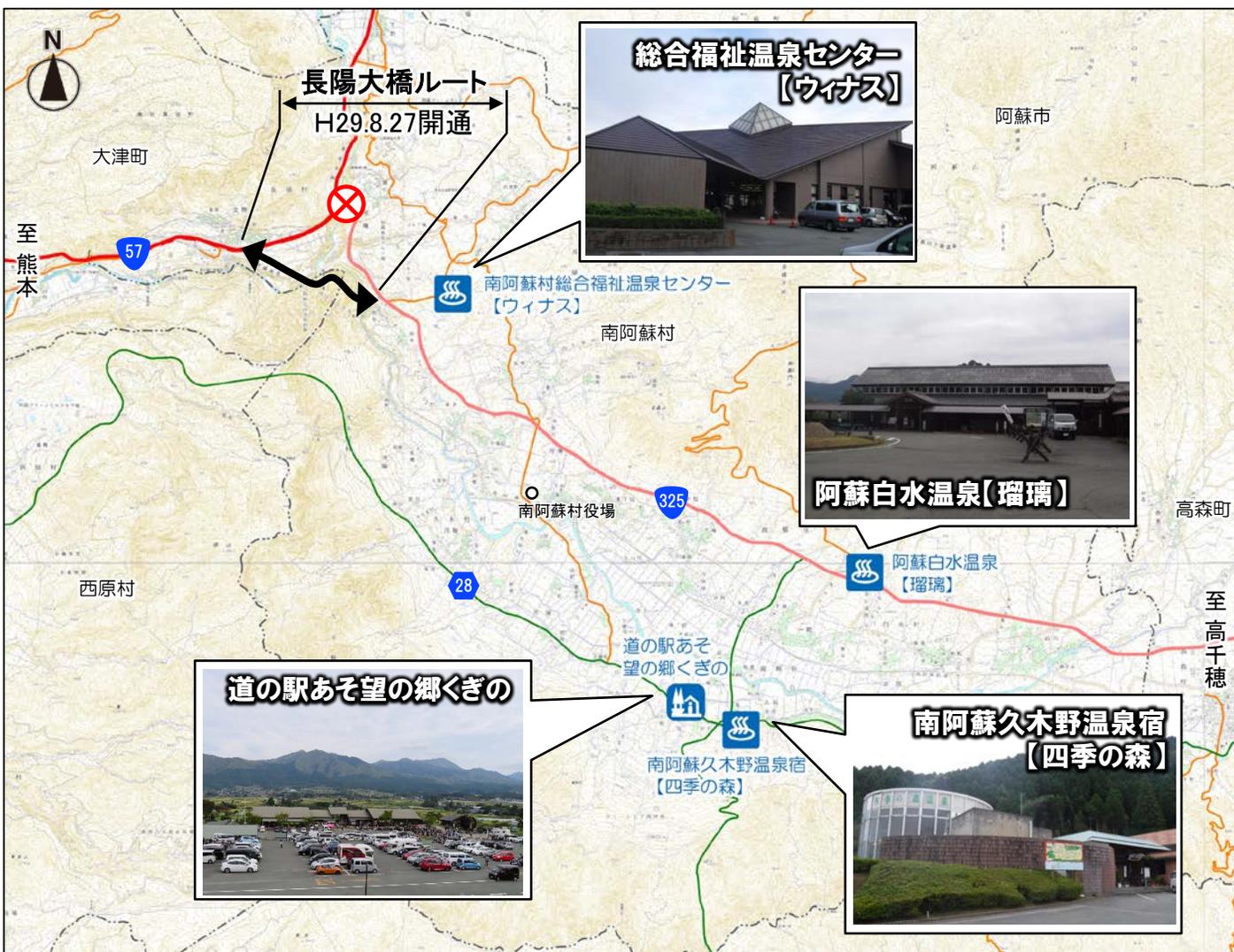
バス事業者の声

(産交バス(株) 高森営業所)

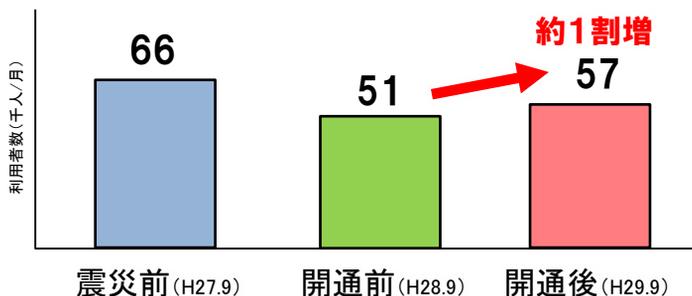


- ・開通前は、イベント開催時や週末など、特急やまびこ号が満席で乗車できない方は、タクシー相乗りで行かれるなど、不便な思いをされていたと思う。
- ・乗客からは、長陽大橋ルートの開通により所要時間が短縮し、直通運転により大津までがすごく近く感じると言われている。

▶ 長陽大橋ルートの開通をきっかけとして、道の駅や温泉施設など南阿蘇村の観光施設の利用者数が増加。

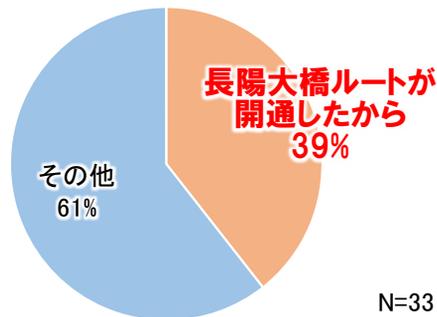


■ 主な観光施設の利用者数（4施設合計）



資料：観光施設提供データ（道の駅あそ望の郷くぎの、南阿蘇村総合福祉温泉センター【ウィナス】、阿蘇白水温泉【瑠璃】、南阿蘇久木野温泉宿【四季の森】）

■ 阿蘇地域を訪れたきっかけ



資料：阿蘇地域来訪者アンケート(H29.10.1(日))（道の駅あそ望の郷くぎの、阿蘇白水温泉【瑠璃】、白川水源）

道の駅 駅長の声

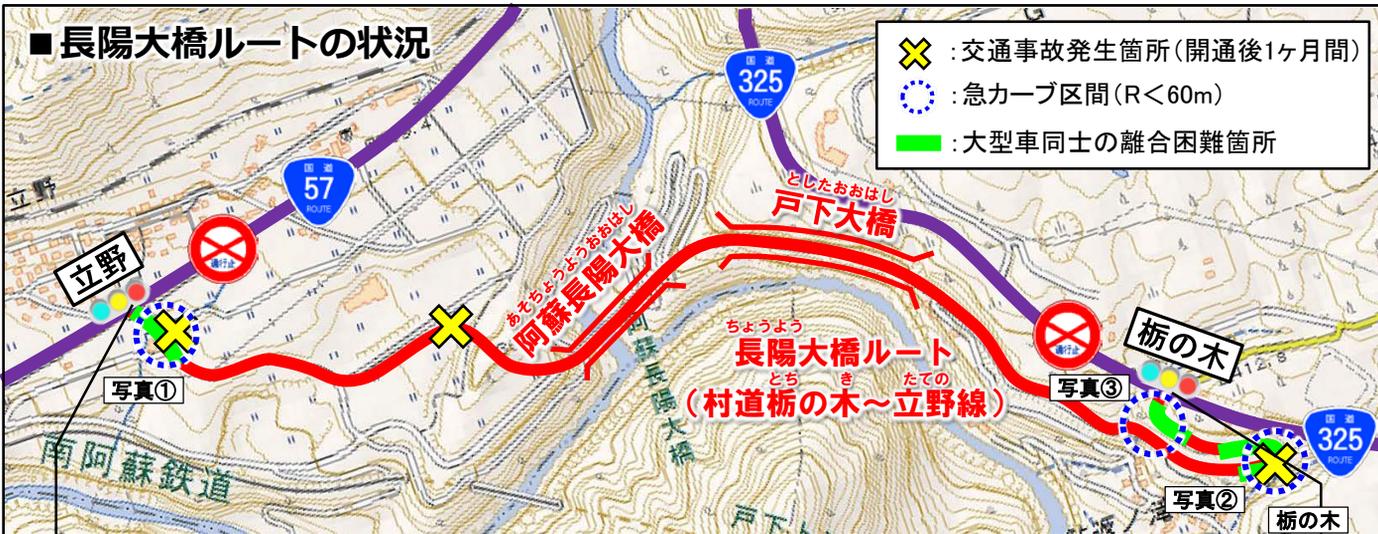
（道の駅「あそ望の郷くぎの」 駅長）



- ・長陽大橋ルートが開通して、道の駅の利用者が増えている。
- ・また、阿蘇地域全体を周遊して、当駅に立ち寄る人も増えている。
- ・開通前は俵山トンネルルートでの交通量が多く、道の駅からの出入りに時間を要したが、開通後は長陽大橋ルートへ通じる道路に交通が分散し、出入りがスムーズになった。

- 長陽大橋ルートは、開通1ヶ月で対向車の接触事故など交通事故が3件発生。急勾配、見通しの悪い急カーブもあるため、走行の際は十分減速してください。
- 阿蘇・南阿蘇方面など目的地に合わせたアクセスルートを活用してください。

■長陽大橋ルートの状況



■長陽大橋ルートの縦断面図

